

令和3年度錦町地域農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当該地域は、熊本県南部、人吉盆地のほぼ中央に位置し、町内の中央部を国道219号線が東西に横断し、国道と並行して北寄りに球磨川が流れている。稲作を主体として、葉たばこ、果樹、施設園芸、畜産等の複合経営が主である。

また、農業者の高齢化や後継者不足等の問題も深刻化しており、食料自給力・自給率向上の観点からは、地域の実情に合った農業を展開していき新規需要米や地域振興作物等の作付拡大を推進する必要がある。

2 高収益作物の導入や転作作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

1 適地適作の推進

当該地域は、様々な高収益作物が栽培されているが、その中でもブロッコリー、オクラ、ズッキーニ、ニンニク類、薬用作物、トウガラシ、かぼちゃ、たまねぎを重点作物として定めており、水田農業の収益力向上のため、これらの作物を中心に作付の推進を図る。

2 収益性・付加価値向上への取組

高収益作物への計画的な転換を図るため、地域へ水田農業高収益化推進助成の周知を行い、産地における水田農業の高収益化を推進する。

3 新たな市場・需要の開拓

当該地域においても、新型コロナウイルス感染症の影響により、収益が減少している状況であり、今後水田農業を活性化させていくために、「水田リノベーション事業」等を活用して輸出・加工用の生産を推進していく。

4 生産流通コストの低減

生産性向上のために「強い農業・担い手づくり総合支援交付金」や「産地生産基盤パワーアップ事業」等を活用し、施設整備を進めていく。

3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

当該地域は、人・農地プランを策定しており、プランの集落営農組織や認定農業者など地域の担い手への農地集積を進めていく。

また、人・農地プランの実質化に向けた話し合いや水田農業高収益化推進助成を周知する中で、水田の利用状況についても点検し、施設園芸など今後水稲作に活用される見込みがない水田については、地域の実情に応じて水田の畑地化を推進していく。

4 作物ごとの取組方針等

(1) 主食用米

米の生産数量目標が減少の一途を辿る中、令和2年産の作付実績については474haとなっている。基本技術の励行による上位等級米の確保に努め、需要に応じた生産を確保し、有機栽培米等の消費者のニーズに即すとともに、地域性を活かした特徴ある米作りを目指す。

(2) 非主食用米

ア 飼料用米

主食用米価格の低迷に伴い、飼料用米の推進を図る。特に、飼料用米に関しては畜産農家のみならず養豚農家との連携まで図れるよう推進する。また、産地交付金を活用し、取組の拡大を図る。

イ WCS用稲

主食用米の需要減が見込まれる中、WCS用稲を転作作物の中心に位置付け、耕種農家と畜産農家との連携による水田における良質の粗飼料生産を行い、畜産農家のコスト低減を図る。

(3) 麦、飼料作物

地域の実需者との契約に基づき、現行の栽培面積を維持する。

(4) そば

地域の実需者との契約に基づき、現行の栽培面積を維持する。また、生産性向上のため、排水対策を実施する。

(5) 高収益作物

産地交付金により園芸作物（野菜等）への支援を行いながら、作付面積の維持・拡大を図る。また、振興を図っている「ブロッコリー」、「オクラ」、「ズッキーニ」、「ニンニク類」、「薬用作物」、「トウガラシ」、「かぼちゃ」、「たまねぎ」を振興作物として拡大する。

5 作物ごとの作付予定面積等

作物	前年度 作付面積 (ha)	当年度の 作付予定面積 (ha)	令和4年度の 作付目標面積 (ha)	令和5年度の 作付目標面積 (ha)
主食用米	474ha、2,403 t	456ha、2,307 t	500ha、2,530 t	500ha、2,530 t
備蓄米	0	0	0	0
飼料用米	4.1	4.2	4.2	4.2
米粉用米	0	0	0	0
新市場開拓用米	0	0	0	0
WCS用稲	411.8	420	430	430
加工用米	0	0	0	0
麦	21.7	22	23	24
大豆	0	0	0	0
飼料作物	630.9	640	650	660
・子実用とうもろこし	0	0	0	0
そば	1	1	1	1
なたね	0	0	0	0
高収益作物	57.3	60	60	60
・野菜	42.4	45	45	45
・花き・花木	1	1	1	1
・果樹	2.1	2	2	2
・その他の高収益作物	11.6	12	12	12
その他	0.22	0.3	0.3	0.3
・落花生	0.2	0.2	0.2	0.2
・小豆	0.02	0.1	0.1	0.1
畑地化	0	0	0	1

※ 主食用米の当年度、令和4年度、令和5年度の目標値において使用した単収は506kg/10a

※ 令和2年7月豪雨による被災の影響を考慮して設定

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目標	目標値	
				前年度（実績） （令和2年度）	（令和5年度）
1	飼料用米	飼料用米担い手加算 （基幹）	作付面積（ha） 反収（kg/10a）	4.1 655	4.2 660
2	ブロッコリー、オクラ、ズッキーニ、ニンニク類、薬用作物、とうがらし、かぼちゃ、たまねぎ	重点品目助成 （基幹）	作付面積（ha）	17.1	22
3	麦、飼料作物、そば	二毛作助成 （二毛作）	作付面積（ha） 水田利用率（%）	502.3 132	530 134
4	飼料作物、WCS用稲	資源循環の取組 （耕畜連携 基幹、 二毛作）	取組面積（ha） 飼料作物等 作付面積（ha） 実施率（%）	348.2 1,072 32.4	380 1,074 35
5	野菜、花卉、花木、果樹、雑穀等	振興作物助成 （基幹）	作付面積（ha）	40.3	42